学術論文等の即時OA義務化が始まります！

概要

令和6年2月16日、統合イノベーション戦略推進会議により「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」が策定され、2025年度新規公募分から公的資金の助成を受けた学術論文等を即時に機関リポジトリ(=奈良教育大学学術リポジトリ)等の情報基盤へ掲載し、オープンアクセス(OA)とすることが義務づけられました。

即時OA実現のための理念

- 公的資金による研究成果の国民への還元、科学技術、イノベーションの創出、地球規模課題の解決への貢献
- 購読料・APCを含む経済負担適正化
- 研究成果の発信力向上

OAとは？

学術論文等をインターネットを介して誰もが無料で自由に利用できるようにすること。

★ こちらもチェック！

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」(統合イノベーション戦略推進会議 令和6年2月16日決定)の実施にあたっての具体的方策、「FAQ」(令和6年10月8日改正)「奈良国立大学機構 奈良教育大学オープンアクセス方針」、「解説」

対象の研究費

2025年度4月以降に新規公募される以下の競争的研究費

- JSPS 科学研究費助成事業
- JST 戦略的創造研究推進事業
- AMED 戦略的創造研究推進事業
- JST 創発的研究支援事業 (革新的先端研究開発支援事業)

対象の研究成果

該当する競争的研究費による学術論文及び根拠データ

- 学術論文:電子ジャーナルに掲載された査読済みの研究論文(著者最終稿を含む)。
- 根拠データ:掲載電子ジャーナルの執筆要領、出版規程等において透明性や再現性確保の観点から必要とされ、公表が求められる研究データ。

即時って？

学術論文及び根拠データの学術雑誌への(電子版)掲載後の、公開禁止期間(エンバゴ)がないこと。機関リポジトリで公開する場合3ヶ月程度での公開が望ましい。

何が変わるの？

学術論文及び根拠データを奈良教育大学学術リポジトリ等で公開します。論文掲載後は…**速やかに以下の通りご対応ください！**

根拠データ含む

ケース 1

- ✓ 対象研究費による学術論文である
- ✓ 査読済論文である
- ✓ 電子ジャーナルで出版されている
- ✓ 出版社サイト等でOAになっていない

- 💡 リポジトリ公開:**必須**
→ 専用フォーム入力・ファイル登録
※事前に著作権をご確認ください!
- 💡 実績報告書:**要記載**
→ リポジトリURL等の詳細を記入

ケース 2

- ✓ 対象研究費による学術論文である
- ✓ 査読済論文である
- ✓ 電子ジャーナルで出版されている
- ✓ 出版社サイト等でOAになっている

※即時OAが困難な場合は実績報告時に理由を報告

- 💡 リポジトリ公開:**義務化対象外**
→ ご希望に応じて登録も可能
- 💡 実績報告書:**要記載**
→ 識別子等の詳細を記入

ケース 3

ケース1・2のどちらにも当てはまらず、かつ、OAになっていないもの

- 💡 リポジトリ公開:
義務化対象外ですが…
→ ケース1同様にご対応ください!

奈良国立大学機構は **公的資金による研究成果の原則100%即時OA**を目指しています。ケース3の場合もリポジトリでの公開をお願いします。

手続きの詳細はこちら

<https://www.nara-edu.ac.jp/teachers/investigation/oa.html>

【本件担当・お問い合わせ先】奈良教育大学教育研究支援課
学術論文・根拠データのリポジトリ登録・公開に関すること
研究データ管理・実績報告書等に関すること

☎ 内線9136 ✉ lib-service@nara-edu.ac.jp
☎ 内線9135 ✉ g-kenkyu@nara-edu.ac.jp